2021年（令和3年）1月25日　月曜日　第763号（毎週1回発行）

本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）

パチンコ・パチスロ業界最新情報

週刊アミューズメントジャパン

Weekly Amusement Japan

2021年（令和3年）1月25日 月曜日

編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL.03-5447-0555　https://www.amusement-japan.co.jp

週刊アミューズメントジャパンは
月曜日Webアップ！
PDFでもご覧いただけます
アミューズメントジャパン　検索

Weekly Amusement Japan
©2021 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing
Amusement Press Japan
planning & production
Amusement Promotion
printing
Four Plus One
年間購読料27,000円（税・送料込）
本紙記事の無断転載を禁じます。

警察庁

全日遊連全国理事会で小堀課長が講話

新たな遊技環境へ

問われる業界の取り組み

15日に開催された全日遊連の全国理事会で、警察庁生活安全局保安課の小堀龍一郎課長が講話を行った。小堀課長は旧規則機の撤去について、昨年5月の規則改正の経緯を説明した上で「新規則機を活用し、射幸性をしっかり抑えた上で、客が安く安心して遊べる、新たな遊技環境を作り出せるかが問われる」と業界側に投げかけた。

小堀課長は講話の冒頭で新型コロナウイルスへの対応に言及。7日に再宣言され、現在11都府県まで拡大されている緊急事態宣言への対応については、20時以降の不要不急の外出自粛を徹底することや、施設に人が集まり、飲食に繋がることを防止する必要があること等を踏まえ、同様の働きかけを行うとされている」と説明した上で、「パチンコホールの皆様におかれましては、現在の感染状況の深刻さ、今回の緊急事態宣言の重み、現在、そして今後の都道府県からの要請・働きかけの内容等を十分に踏まえつつ、今一度危機感を持って、業界のガイドラインに沿い、あるいはそれ以上の工夫をしながら、ウイルスの脅威から、お客と従業員、それぞれの御家族にいらっしゃる御家族の方々の健康・命を守っていただきたい」と要望した。

その上で、旧規則機の撤去、のめり込み・依存問題、法令違反の3点について述べた。

このうち旧規則機の撤去については、昨年5月の規則改正について「新型コロナウイルス感染症の影響により、遊技機の部材調達が困難化するなど、新規則機への入替を予定通り進めることが困難となったこと、入替作業等に伴う感染拡大の防止を図る必要があったことがあった。他方で、社会一般の視点から、射幸性の抑制という命題が後退したと受け止められてはならないこと、また、撤去期限がそのまま後ろ倒しになり、経過措置期間満了間際になって撤去が集中する等の事態を避ける必要があることといった問題があった」と背景を説明。これらの問題の解決に向けて、「業界団体の幹部の皆様と議論をし、最終的に、業界団体による旧規則機撤去の取組に対する信頼をベースに、入替を分散化して計画的に行うため、規則改正を行うこととした」と振り返った。

こうした経緯を踏まえて、パチンコ・パチスロ産業21世紀会が旧規則機の計画的撤去を決議。その後の経緯について小堀課長は「計画的な撤去を推進していると承知している。よく状況をみていきたい」と述べ、旧規則機の計画的で着実な撤去を求めた。

小堀課長は旧規則機の撤去に伴う遊技機の廃棄方法にも言及。「かつて廃棄された遊技機が野積み等として社会問題化したことが思い出される。また、ぱちんこ店で使われていた遊技機が『闇スロ』と呼ばれる賭博で用いられることもある。こうした問題を繰り返さないことが求められる」と述べた。

小堀課長はその後、昨年5月にぱちんこ営業が信用保証協会の保証の対象、政府系金融機関の支援の対象になった経緯について、「これまで首を縦に振らなかった中小企業庁等の担当省庁から最終的に認められたのは、ぱちんこ営業の射幸性が風営法でしっかりコントロールされていること、とりわけ平成29年の規則改正によって射幸性が抑制されることとなったことに理解が得られたから」と述べ、「多くの要素が複合する時期だが、このような時だからこそ、ぱちんこホール、遊技機メーカー、遊技機販売会社等が協力しながら、新規則機を活用し、射幸性をしっかり抑えた上で、客が安く安心して遊べる、新たな遊技環境を作り出せるかが問われる。業界全体での取組みを期待している」と述べた。講話ではほかにも、のめり込み・依存防止対策、遊技機の不正改造問題、賞品問題などに言及した。

【講話全文を4面に掲載】

の認識を示し、「遊技機の適正な管理・廃棄が確実に行われるよう、全日遊連を始めとする関係団体が、それぞれ自らの立場で何ができるかを真剣に考え、行動に移していただきたい」と要請した。

さらに、新規則機について「射幸性を上げることに繋がるものではなく、魅力ある遊技機作りが可能となるよう、多彩な演出やゲーム性を高める内容の要望については前向きに対応している」と明かし、「これまでに業界の要望を受け、例えば技術上の規格解釈基準を変更し、新たなゲーム性を有する遊技機を開発可能とするなどしている。現在も日工組、日電協において様々な努力が行われている」と業界側の実情にも理解を示した。

小堀課長はその後、昨年5月にぱちんこ営業が信用保証協会の保証の対象、政府系金融機関の支援の対象になった経緯について、「これまで首を縦

全日遊連 営業店舗数

通年で584軒減

全日本遊技事業協同組合連合会の集計によると、12月末時点の組合加盟の営業店舗数は8302軒で、前月より19軒減少した。2020年の通年では584軒（6.6%）の減少。12月中に発生した休業店舗は12軒、廃業店舗は37軒、新規店舗は9軒だった。

12月末時点のパチンコ台数は224万4798台で、前月より585台増加。パチスロ台数は146万2969台で、同667台減少。通年ではパチンコ台数が12万5788台（5.3%）、パチスロ台数が6万7011台（4.4%）それぞれ減少した。

全日遊連加盟店舗の実態調査結果　都府県方面遊技業協同組合加盟店舗

	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数（当月発生分）	遊技機台数 ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	その他（※）	総台数
2019年12月	8,886	18	35	105(11)	2,370,586	1,529,980	37	3,900,603
2020年1月	8,802	3	58	135(34)	2,349,576	1,517,618	37	3,867,231
2月	8,763	6	34	148(25)	2,339,380	1,512,169	37	3,851,586
3月	8,710	0	66	130(12)	2,328,558	1,506,388	37	3,834,983
4月	7,805	2	68	955(490)	2,050,434	1,323,951	37	3,374,422
5月	8,528	4	61	186(47)	2,287,854	1,483,250	37	3,771,141
6月	8,470	31	78	187(44)	2,272,754	1,478,102	37	3,750,893
7月	8,436	9	49	187(23)	2,266,446	1,478,097	37	3,744,580
8月	8,416	8	32	174(9)	2,260,831	1,476,974	37	3,737,842
9月	8,378	6	47	169(25)	2,253,657	1,471,502	37	3,725,196
10月	8,338	1	52	162(19)	2,245,863	1,466,060	37	3,711,960
11月	8,321	11	30	158(15)	2,244,213	1,463,636	37	3,707,886
12月	8,302	9	37	148(12)	2,244,798	1,462,969	37	3,707,804

（注）①店舗数、遊技機台数は、各月の末日現在の数　②※その他はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する　（2021年1月15日現在の集計）

今週の紙面から

「キレパンダ」がパチンコに
『P安心ぱちんこキレパンダinリゾート』
高尾　2面

話題のシリーズ第3弾
『Pバーストエンジェル3』
豊丸産業　2面

店舗美観と感染症対策
「ガサツチェックコンテスト」優秀法人に学ぶ
コンチェルト　2面

eスポーツ大会に特別協賛
SANKYO　2面

システムでモチベーションを高める
P-MOTIVATION　3面

プロモーション効果を最大限に
ザック・ストラテジー　3面

遊技機取り付けを競技に
日本iスポーツ機構　4面

コロナ対応、旧規則機の撤去・廃棄を着実に
警察庁生活安全局保安課　小堀龍一郎課長　4面

『沖ドキ！』『沖ドキ！-30』等の計画的撤去

全力で取り組みを

業界8団体が異例の声明

全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、MIRAI、余暇進の業界8団体が12日、㈱アクロス製回胴式遊技機『沖ドキ！』及び『沖ドキ！-30』等の21世紀会決議に基づく計画的撤去の徹底について」と題した声明文をホール営業者に向けて発出した。メーカー・販社団体とホール団体がまとまって声明を出すのは極めて異例だ。

声明文では、昨年5月に行われた規則改正や、ホール営業者の悲願だった政府系金融機関と信用保証協会の融資・保証等の対象事業者への指定を獲得できたことは、過度な射幸性の抑制に全力で取り組むことを前提に、国や行政の理解と協力を得て成しえたものだとした上で、「旧規則機の取扱いに関する21世紀会決議を遵守することは、今回の措置に対する、この業界に携わるすべての者にとっての責務である」とした。

その上で、高射幸性回胴式遊技機はもとより、21世紀会決議に基づく撤去期限を迎えた『沖ドキ！』及び『沖ドキ！-30』を設置し続けている一部のホールが確認されていることについて「21世紀会決議を遵守している近隣ホールが悪影響を受けるという由々しき事態が発生している。目先の利益や己の権利ばかり主張する一部の者の存在によって、業界全体の未来が危ぶまれる事態をこのまま看過することはできない。今こそ業界が一致団結し、先義後利の一念でこの難局を乗り切らなければならない」と決意を表明。21世紀会決議に基づく計画的撤去について「全力で取り組んでいただきますようお願い申し上げます」と呼びかけた。

ホール関係4団体

PAAに協力要請

緊急事態中の広告宣伝適正化で

7日に東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県を対象に政府から緊急事態宣言が発出されたことを受けて、全日遊連、日遊協、MIRAI、余暇進のホール関係4団体が連名で12日、一般社団法人ぱちんこ広告協議会（PAA）に「緊急事態宣言中の広告宣伝適正化への協力のお願い」を文書で要請した。

昨年の緊急事態宣言期間中の広告宣伝自主規制において、第三者による取材形式を伴った広報活動も含め、店舗による取組の温度差が散見されたことを踏まえ、「今回はバッシングの火種とならないよう、御協議会会員様のご協力もいただきながら、業界あげての広告宣伝の適正化をはかっていきたい」と協力を求めたもの。

YouTubeから銀の盾

マルハン

YouTubeから贈られた銀の盾を手にする韓裕社長

マルハンが運営するYouTubeの「マルハンチャンネル」。その登録者数が10万人を突破し、マルハンはYouTubeから記念品の「銀の盾」を贈られた。今後は「金の盾」が贈られる基準である登録者数100万人を目指すという。

マルハンチャンネルが本格的な動画配信を始めたのは2019年6月。豪華ゲストを毎回迎えるパチンコ実践番組「ヒラヤマンのぱちっていいジャン」がスタートした。2020年5月にはパチスロの実践対決番組「回胴の鉄人」を開始。最高視聴回数が143万回を超える動画もある。このほか不定期で、導入前の新機種情報を動画配信している。

同社は「コロナ禍における"おうち時間"を楽しく過ごしていただけるよう、魅力あふれる動画を配信していく」という。

シール貼り作業に労賃15万円

大分県遊協

同法人の代表者（右）に労賃を手渡す力武理事長

大分県遊技業協同組合は13日、NPO法人福和会「多機能型事業所じゃんぴんぐVOY」にシール貼り作業労賃として15万円を手渡した。このシール貼り作業は、大分県遊協が同事業所に依頼したもの。傘下ホールが年始客に配布する挨拶商品に年賀シールを貼ってもらった。

就労継続支援事業を手掛ける同施設は、障がいを抱える人に活躍の場を提供。大分県遊協は社会貢献活動として、毎年仕事を発注している。

本社勤務者の業務可視化

ダイナム

ダイナムは、1月から本社勤務の全社員を対象に、働き方改革支援・業務可視化システムを導入した。

新型コロナウイルスの国内感染が拡大する中で、同社は本社勤務者を中心にテレワークを進めており、2020年12月時点でのテレワーク実施率は65.5%（勤務日数に占めるテレワーク日の割合）。一方でテレワークの推進によって、対面コミュニケーション機会の減少により、個々人の勤務状況や業務パフォーマンスを正確に把握・管理することが容易でなくなる。そこで新たなマネジメントスタイルを確立するために導入したのが「Qasee（カシー）」だ。

Qaseeは、PCの稼働状況を可視化し、分析レポートを個人と管理者の双方にフィードバックすることで、チーム全体の業務パフォーマンスを高め、生産性の向上を図るシステム。

チーム力で成果を上げろ　第106回

部下に楽しく仕事をしてもらうには？

株式会社上司の魔法 代表　黒岩 禅

最高のチームは、イキイキと笑顔で楽しそうに働いているイメージがしないでしょうか？ 元気に挨拶をしてくれる。笑顔で挨拶をしてくれる。リーダーとしても、嬉しくなってきますよね。その元気を、その笑顔をつくっているのは、実はあなたの元気と笑顔だったりします。

マーク・トウェイン著『トム・ソーヤの冒険』をご存知でしょうか？ 主人公である少年トムが、壁のペンキ塗りを命じられます。ペンキ塗りを辛いと思ったトムは、友だちに手伝ってくれるように頼みますが断られます。そこでトムは、歌を歌いながら楽しくて仕方がない感じで塗るようにしました。すると通りがかった友人が「ぼくにもやらせてよ」と言ってくるのです。しかし、その申し出を断ります。断るとますますペンキ塗りをやりたがり、その様子を見ていた別の友人たちも集まってきて「ぼくにもやらせてよ！」。結局トムは、集まった友人たちにペンキ塗りをやらせて、あっという間にペンキ塗りを終わらせました。

私にも似たエピソードがあります。

当時5歳の娘とドライブ。娘から「パパは、どうしていつも楽しそうなの？」と聞かれました。実は、この質問をしてもらうために、疲れているときにも楽しそうに振る舞ってきたのです。そして、答えをすでに用意していました。

娘の「パパは、どうしていつも楽しそうなの？」の問いに、「パパがいつも楽しいのはね、子どものころにドリルをたくさんやったからだよ♪」とめちゃめちゃ楽しそうに答えました！

娘は私の答えに目を大きく開いて「私もドリルする！」と言ってくれました。そのおかげなのか、夏休みの宿題など何も言わなくても終わらせてくれています。

「勉強しなさい！」という親のイメージって怖くないでしょうか？ あるいは不機嫌そうに見える。だから、勉強もつまらないものというイメージにしかならないのだと思うのです。

数多くの会社を見てきて、ひとつの結論があります。

強い会社は「店長になりたい！」と思っている社員が多いのです。弱い会社は「店長になりたくない」という社員が多い。その違いが生まれる最大の原因は、今の店長が楽しそうに働いているか、辛そうに働いているかの違いです。

かつての私は、辛そうに働いている店長でした。辛そうにしていると、「大変ですね」「がんばってますね」「お身体大切にしてください」などと優しい声を掛けてもらえ、それが嬉しかったのだと思います。引き換えに、「店長になりたい」という社員はただの一人もいませんでした。社員になりたいというアルバイトも皆無でした。

太陽のマネジメントに目覚めた私は、楽しそうに働くようにしました。ただしくは、楽しそうなふりをしたのです。すると部下も楽しそうに働いてくれる。結果、みんなが「店長になりたいです！」と言い出してくれたのです。社員になりたいというアルバイトも数え切れません。社員応募の動機を聞くと「店長が楽しそうに働いてるのを見て、ここで社員になりたいと思いました」と言う者も出てきました。

最高のチームの息吹が聞こえてきた瞬間です。

くろいわ・ぜん
年間3000万円の赤字店舗を半年で黒字化するなど多くの収支改善の実績を持つ。TSUTAYA5つ星の1280店舗が、売上や計画達成率を競い合うTSCでグランプリ獲得。最多の受賞数を誇る。現実現場から生まれたマネジメント、<太陽のマネジメント>を伝える実践型講師。講演・セミナーでの、他に類を見ない圧倒的なパフォーマンスは評判。
株式会社上司の魔法 代表取締役
http://square-one.jp
Twitter　@ZENG_Q

Etak PURE
効果が持続する防菌・除菌・消臭剤
イータック ピュア

イータックは、
全国7万の
医療機関で
使われています。

固定化防菌成分配合、除菌効果が持続します。

イータック ピュアはコロナウイルスを防ぎ消毒するアルコール製剤です。
【使用例】パチンコのハンドル・上皿・下皿・ガラス面、パチスロのレバー・ストップボタン、トイレの便座、トイレマット、ドアノブ、ホールチェア、レストコーナーのソファ・足元、制服、手指など
【第三者機関で防菌・防ウイルス効果、消毒効果が認められたもの】コロナウイルス／インフルエンザ／ノロウイルス／O157／サルモネラ／黄色ブドウ球菌／MRSAカンジダ菌／水虫原因菌など
【特許取得済】特許:第3834655／特許:第4830075／特許:第4972743

総発売元
株式会社 アミューズメント プレス ジャパン
販売事業部　担当:桑川・高袖
お申込み:電話またはメールで下記へ。注文用紙をお送りします／資料請求・お問合せも下記へ
TEL.03-5447-0555　hanbai@amusement-japan.co.jp
※Etak PURE は株式会社アミューズメントプレスジャパンのプライベートブランド製品です

パチンコ景気動向指数（DI）調査 2021年1月

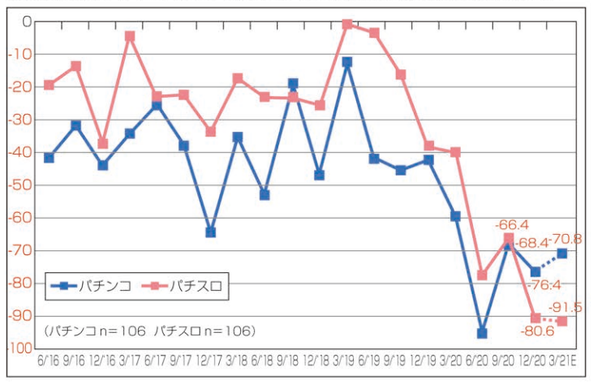
パチスロが大幅に悪化

設置台数はパチンコ「増」、パチスロ「減」

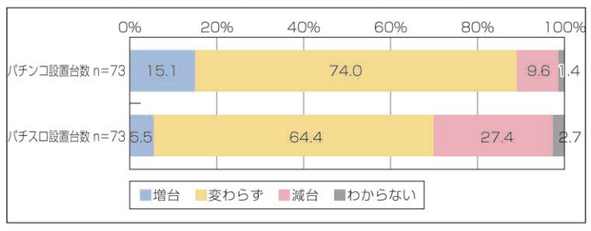
調査会社のシーズが四半期ごとに実施しているパチンコ景気動向指数（DI）調査によると、12月の全般的業況は前回調査（20年9月）からやや悪化し、見通しは依然として厳しい状況だ。

20年12月期の全般的業況は、マイナス72・6と前回調査のマイナス67・8から4・8ポイント悪化した。全般的業況は過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断されるもの。3カ月後の見通しはマイナス71・7ポイントとおおむね現状維持。前回調査は緊急事態宣言が解除され、回復に向かっていたものの、低迷した状況から抜け出せていないことが見受けられる。

稼働状況（パチンコ・パチスロ別）：パチスロは大幅に悪化、見通しも厳しい



設置台数：パチンコは「増台」、パチスロは「減台」の割合が高い



悪化理由として「自店来店客数の減少」と回答した割合は8割以上に上る。

全般的業況を事業者規模別でみると、小規模事業者（1～3店舗）はマイナス79・2（前回比7・8ポイント悪化）、中規模事業者（4～10店舗）はマイナス70・4（同16・2ポイント悪化）、大規模事業者（11店舗以上）はマイナス77・3（同11・9ポイント悪化）だった。

稼働状況をパチンコ・パチスロ別でみると、パチンコはマイナス76・4（同8・0ポイント悪化）、パチスロはマイナス90・6（同24・2ポイント悪化）。先の見通しは、パチンコは回復傾向だが、パチスロは依然として厳しい。

遊技料金別にみると、4円パチンコはマイナス70・2（同3・2ポイント悪化）、20円パチスロはマイナス87・5（同22・0ポイント悪化）、低貸しパチンコはマイナス62・9（同14・7ポイント悪化）、低貸しパチスロは77・8（同30・2ポイント悪化）と全遊技料金で悪化。パチスロの大幅な悪化が目立った。

自由回答では、以下のような声が上がった。

「感染症対策をしっかりと行っているが、年配層の来店頻度がかなり減少している」（中部）

「今の6号機の2400枚規制のままでは商売を継続していくだけの魅力を感じない」（中国）

今回の調査では、パチンコとパチスロの設置比率を見直すかについても聞いた。回答企業の大半は設置比率を変えないとしたものの、パチスロの「減台」を検討している企業は27・4％。パチスロ旧規則機の"穴"をパチンコ新規則機で補おうとする様子が見て取れる。

【調査概要】
実施期間 2020年12月10日～12月24日
回答状況 有効回答73企業、106地域
調査方法 調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

コロナ時代の店舗美観と感染症対策

「ガサツチェックコンテスト」優秀法人に学ぶ！

コンチェルト（東京都）

グローバルアミューズメントが2020年8月後半から11月に実施した、店舗環境評価のスコアを競う『ガサツチェックコンテスト2020全国大会』で高い評価を得た法人は、どのように店舗環境向上に取り組んだのか。

店舗運営部の宇野修一次長（左）、成増パチンコ館の平見友康店長、店舗運営部の市原広行課長

「お客様にとって快適な店」とは、店舗環境が良いストレスが少ない店。ゴミ、汚れがないことはもちろんのこと、従業員の姿勢、掲示物の傾き、収納棚の扉の開け放し、什器の破損といった、店内の「ガサツ」さがストレスの要因になる。2020年は店舗のガサツさが、来店客に「感染症対策が徹底されていない」という印象を与えることになったため、ガサツさを払しょくすることは以前にも増して重要度が高まった。

「コンサートホール」の屋号でホール21店舗を展開するコンチェルト（東京都）は、『ガサツチェックコンテスト2020全国大会』で3店舗が最優秀「ダイヤモンド賞」を獲得。4年連続してダイヤモンド賞の獲得店舗を輩出した。

店舗運営部の宇野修一次長によると同社の店舗環境改善の取り組みは、第一に「コストをかければ改善できることと、コストがかからないことを、現場で仕分けしてもらう」、第二に「コストがかからないことは改善までのロードマップを作成してもらい、その進捗を店舗の全員で共有し作業管理してもらう」を基本方針としている。

コンチェルトの「コンサートホール」は上木戸店、成増パチンコ館、八戸店が最優秀ダイヤモンド賞を獲得した

「各店長は『店舗美化の目的はコンテストで上位を獲るためではなく、日々来店してくださるお客様のため』という共通認識を持っています。また、私自身も店長時代にダイヤモンド賞を受賞しましたが、この取り組みは従業員の気付きや考える力を養うOJT、能力開発の一環だと捉えていました」（宇野次長）

取り組みの効果について、店舗運営部の市原広行課長は、「快適遊技空間は、お客様にとって間違いなく店舗選択理由のひとつ。ガサツを取り除くことは、店舗滞在時間の伸びや店舗選択に影響します」と説明する。コンサートホール成増パチンコ館の平見友康店長は、「コロナ禍の2020年は、店舗環境の改善はお客様に『安心』『安全』を提供することにつながりさらに重要になった」と言う。

平見店長は前任店舗でも3度ダイヤモンド賞を獲っており、今回は、着任したばかりの成増パチンコ館を受賞に導いた。

平見店長は短期間に店舗美化を強化するために、意識の高いスタッフを中心に選抜した美化推進チームを作り、役割分担決めやスケジュール作成などを任せた。整理・整頓・清掃の意識付けは、休憩室や事務所等のバックヤードから始め、もっとキレイにできるということを示し、従業員の中の「当たり前」の認識レベルの向上を図った。

「現場スタッフの目線では店内のガサツ状態が風景化しやすく、気づきの意識が低下し、他の業務が忙しい中で後回しにしてしまうこともあります。ですから熱量が下がった停滞時期を見逃さずに、再徹底を呼びかけることが重要です。また、あらかじめ定期点検を計画しておくのも有効です。私の場合はガサツチェックの評価項目を活用して、全スタッフで定期点検を行い、必要に応じて推進チームに改善計画を作り直してもらいました」（平見店長）

高尾

「キレパンダ」がパチンコに

『P安心ぱちんこキレパンダinリゾート』プレス説明会

高尾は18日から19日にかけて、パチンコ新機種『P安心ぱちんこキレパンダ』がメインのパチンコ。大当たり確率1／318・1のミドルスペックと、大当たり確率1／79・9の甘デジスペック『P安心ぱちんこキレパンダinリゾート79ver.』を同時リリースする。

機種説明をする河村将徳さん

ミドルスペックは、トータル継続率約71％（時短含む）の確変ループタイプ。1500個を払い出す特図2の10R比率は88％と、少ない出玉で終わってしまうガッカリ感を抑えたスペックだ。通常大当たり後は必ず時短128回に突入するので引き戻しに期待できる。低確率状態を800回転消化すると時短9999回の遊タイムに突入するが、大当たり後は必ず時短128回を消化するので遊タイムまでの回転数も軽減されている。

甘デジスペックはST＋時短タイプで登場。すべての大当たり後は必ずST6回＋時短30回に突入する。トータル継続率は約67％（ST＋時短含む）。ST＋時短で十分に連チャンを期待できる上に、遊タイム突入までの低確率状態の回転数が200回と安心して楽しめるスペックになっている。

通常モードはハワイ、沖縄、セブ島、プーケットというリゾート地が舞台。キレパンダがさまざまなマリンスポーツに挑戦して大当たりを目指す。

怒りのあまり図柄が炎上する「アルマゲドンSPリーチ」や「激オコゾーン」、「怒ランプ予告（MAX）」、「激オコ保留」、「キレパンダ群」の四大演出にも注目だ。甘デジスペックでは甘デジ専用最強リーチとして「ポセイドンリーチ」が搭載されている。

ホール導入はどちらも2月15日からを予定している。

豊丸産業

話題のシリーズ第3弾

豊丸産業は15日、WEBプレス発表会でパチンコ新機種『PバーストエンジェルS』を発表した。

機種説明を行った沼﨑光晴さん
©2003 GONZO／爆天計画
©2003・2007 GONZO／爆天計画

2008年リリースの『CRバーストエンジェル』、2012年リリースの『CRバーストエンジェルインフィニティ』に続くシリーズ第3弾だ。

大当たり確率は1／199・8で、出玉獲得のメインとなる小当たりラッシュ「VRUSH」突入率は100％。一度の小当たりで平均約75個を獲得する「VRUSH」の継続率は、96％オーバーとなっている。

本機は新解釈基準対応機として、業界初の2種類のリミットを搭載。大当たりはどちらも3R確変の「ショットガンボーナス」と「ショットガンボーナス スペシャル」の2種類だ。「ショットガンボーナス」は、次回大当たりまで「VRUSH」が続く2回リミット。初当たり時、33％の振り分けで当選する「ショットガンボーナス スペシャル」なら大当たりを3つ獲得（初当たりを含めた4回リミット）。約96％の継続率を誇る小当たりラッシュを存分に味わえる。

「VRUSH」時の演出は、バトル告知、演出告知、ボタン告知、図柄告知、一発告知から任意で選択可能。楽曲も全14曲を搭載するなど、コンテンツのファンだけでなく誰もが楽しめる1台に仕上がった。

ホール導入は3月22日からを予定している。

SANKYO

eスポーツ大会に特別協賛

SANKYOは、2月27日に本選が行われるeスポーツ大会「GGGP2021（ガンダムゲームグランプリ2021）」に特別協賛する。

GGGP2021で使用される競技タイトルは『機動戦士ガンダムEXTREME VS・マキシブーストON』（PlayStation 4）。1月中に計8回行われるオンライン予選を勝ち抜いた2人1組の8チームが腕前を競い合う。賞金総額は300万円。

予選および本選の模様は、YouTubeの公式チャンネル「GGGPチャンネル」でライブ配信される。その他の詳細情報は公式サイトで確認できる。

ぱちんこ依存問題 11月の電話相談258件

ぱちんこ依存問題相談機関リカバリーサポート・ネットワーク（RSN、西村直之代表）が11月に受けた電話相談は258件で、前月より61件少なかった。

11月に受けた電話相談のうち、初めて電話をかけてきた相談（初回相談）は131件（51％）、複数回目の相談は72件（28％）。

機種情報について

▼時短はSTを含めた回数です　▼パチスロのボーナス枚数は、すべて純増です　▼導入予定日（最速）は納品日ではなく、オープン日を指します　▼問い合わせ先は各社最寄りの営業担当まで　▼スペックはアミューズメントジャパン調べ

New Machine Digest

ジェイビー　遊タイム搭載機

Pパトラッシュ V（RED）

問い合せ／㈱SANKYO　導入予定日 3月8日

高継続のライトミドルタイプ
「Pパトラッシュ V（GREEN）」も同時リリース

継承＋進化を遂げた名機が5年ぶりに登場

ドット搭載機シリーズが5年ぶりに復活。コミカルなドット演出、インパクト抜群の役物演出はそのままに、大量出玉獲得に期待できるスペックだ。初当たり時は51％の振り分けで、時短30回＋残保留4個の「レスキューRUSH」に突入。RUSHは約80％継続で、ALL1500個を払い出す。残保留4個のラストチャンス「泣きの1回」で、「7・9・1」が停止すれば期待度は約96％だ。

ミドルタイプ	
大当たり確率：1／319.7→約1／21.6 ※大当たり、小当たり合算	
時短回数：30回＋残保留4個	
RUSH突入率：51％	
RUSH継続率：約80％	時短30回の継続率：約75.8％ 残保留4個の継続率：約17.3％ 合算の継続率：約80％
遊タイム：大当たり後950回消化で時短1214回	
ラウンド数：10R・10カウント	
賞球数：3&1&2&4&10&15	

高尾　遊タイム搭載機

PDD北斗の拳2 ついでに愛をとりもどせ!!～ケンシロウ319Ver.～

問い合せ／㈱高尾　導入予定日 4月

©武論尊・原哲夫／コアミックス1983 版権許諾証 YTU-855
©武論尊・原哲夫／コアミックス1983,©DD北斗の拳2013,2015

短時間でも夢が追える スピードタイプのST機

出玉が速い"スピードタイプ"のハイミドル新規則機で、仕事帰りの短時間勝負でもヒキ次第で夢が追える。初当たりの50％で確変大当たりに突入、しかも1500個の払い出しを獲得できる。さらに、時短引き戻しを含むST継続率が約85％と高く、RUSHに突入さえすれば、出玉のかたまりが期待できるのが魅力だ。RUSH突入時のTYは約6600個と昨年導入された幾多のミドルV-STと比べてもトップクラスだ。

ミドルタイプ	
大当たり確率：1/319.6→1/37.8	
RUSH突入率：約59％ ※時短引き戻しを含む	
RUSH継続率：約85％	※ST時引き戻し率約81％、時短141回時引き戻し率約36％、時短40回時引き戻し率約12％の合算値
ST回数：61回	電サポ回数：30回（遊タイム）or61回or101回or202回
賞球数：2&1&5&4&1&15	ラウンド数：2Ror3Ror10R・10カウント
遊タイム：低確率959回転消化で発動 時短30回転	

山佐

ニューパルサー SPⅢ

問い合せ／山佐ネクスト㈱　導入予定日 4月上旬

©YAMASA ©YAMASA NEXT

SPシリーズ第3弾 新筐体で演出も追加

新筐体で演出バリエーションがパワーアップした、「ニューパルサSP」シリーズ第3弾。通常時は多彩な出目をシンプルに楽しめる出目重視のノーマルモード、第3ボタン停止時にリーチ目フラッシュでボーナスを告知する告知重視のフラッシュモード、お馴染みのドット演出と出目が絡み合う演出重視のドットモード、という好評のトリプルモードを搭載した。違和感演出は全モード共通で発生。ランプ変化や液晶変化、サウンド変化など約100種類を搭載している。従来のニューパルサーシリーズと遜色ないボーナス確率を実現した遊びやすい1台だ。

ノーマルタイプ
ボーナス合算：1/174.8（設定1）～1/133.7（設定6）
獲得枚数：ビッグボーナス259枚（最大）、レギュラーボーナス104枚（固定）
出玉率：現在調査中

アムテックス　遊タイム搭載機

P銀河鉄道999GOLDEN（甘デジ）

問い合せ／㈱平和　導入予定日 3月22日

©松本零士・東映アニメーション

100％ST機で右打ち 1000個比率が72.5％

すべての大当たりで50回の確変に突入する100％ST機。初当たりの99％は電サポ50回のST「GALAXY RUSH 50」だが、特図2で大当たりを重ねると、以降は電サポ100回（ST50回＋時短50回）の「GALAXY RUSH 100」に突入する。特図2大当たりの72.5％は、1000個を払い出す10R確変。甘デジながら大きな出玉に期待できる。初当たり時が999図柄揃いならば、電サポ100回に直行だ。

甘デジタイプ
大当たり確率：1／99.9→1／99.7
確変割合：100％（ST50回）
ST継続率：約65％（※）
電サポ回数：50回or100回
賞球数：1&4&10
ラウンド数：5Ror10R・10カウント
遊タイム：低確率250回転後、時短379回

※ST50回（継続率約39.6％）、時短50回（同約39.5％）、残保留4個（同約3.9％）の合算値
※残保留での当選時はGALAXY RUSH 50に突入

高尾　遊タイム搭載機

P安心ぱちんこキレパンダinリゾート 79ver.

問い合せ／㈱高尾　導入予定日 2月15日

ミドルタイプの
「P安心ぱちんこキレパンダinリゾート」も同時リリース

キレパンダが主役に 怒れば怒るほど好機

高尾のマスコットキャラクター「キレパンダ」がパチンコで登場。通常時はハワイ、沖縄、セブ島、プーケットというリゾート地が舞台。怒れば怒るほどチャンスとなる保留変化やマリンスポーツのリーチなど、見て楽しい要素を盛り込んだ。キレパンダの怒りMAXで発動する「アルマゲドンSPリーチ」は大チャンス。「激オコゾーン」、「怒ランプ予告（MAX）」、「激オコ保留」、「キレパンダ群」の四大演出にも注目だ。

甘デジタイプ
大当たり確率：1／79.9→1／8.7
ST突入率：100％
ST回数：6回
時短回数：30回
トータル継続率：約67％
遊タイム：低確率状態200回転消化で時短36回
ラウンド数：5Ror10R・7カウント
賞球数：1&1&6&1&10

ベルコ

ワンチャンス 1000

問い合せ／ベルコ㈱　導入予定日 3月8日

©BELLCO

ワンチャン1000枚に いつでもチャレンジ

AT突入契機は、平均68G（1G～111G）という短い周期で到達するCZ。天井がないため、どのゲームでやめても良く、さっと1勝負（ワンチャン）して約1000枚獲得可能というのが、機種名の由来になっている。CZは最大33G間小役で解除抽選をし、期待度は約30％と現実的な数字だ。初回AT「ワンチャンボーナス」は約100枚or約250枚。ボーナス中は最大3ステップの1G連抽選を行うため、例えば初当たり約250枚＋連1回目約250枚＋連2回目約500枚といった感じで約1000枚を獲得できる。CZ中にデジスロが発動するなど、ベルコらしいシンプルながら奥の深い演出も楽しめる。

ATタイプ（純増約5.0枚／G）
AT初当たり確率：1/410.1（設定1）～1/319.7（設定6）
AT獲得枚数：約100枚or約250枚
出玉率：97.5％（設定1）～1/105.5％（設定6）

パチンコ業界特化型モチベーション管理システム『P・MOTIVATION』

システムでモチベーションを高める

株式会社P・MOTIVATIONは、『P・BRAIN』を提供するピーブレイングループの中島基裕代表がCEOとして、2020年1月に創業したスタートアップ。パチンコ業界で自ら考え行動する人材を根付かせることを目的に、このほど業界に特化したモチベーション管理システム『P・MOTIVATION』（ピーモチベーション）をリリースした。

中島氏がP・MOTIVATIONを立ち上げたのは、ピーブレインの創業に参加して約1000店舗のホールにデータ管理システムを提供する中で、システムの利用頻度が高い店舗（企業）がある一方で、利用頻度が低い店舗（企業）もあったことが理由だった。そこで、中島氏とともに代表取締役社長としてP・MOTIVATIONの創業に参画した大原直樹氏の会社（Next Education）に依頼して、いくつかのホールで店舗の診断を実施。そのデータをもとに問題点を指摘したところ、システム運用への意欲が活性化されることがわかったという。

「そのときに思ったんです。結局は人なんだなと。私を育ててくれたホール企業でも、店長が変わると結果が変わっていた。『**火種の人**』と呼んでいますが、やる気のある人がお店にいると、その人がみんなを燃やしてくれて組織が良い方向に進むんです。振り返ると、P・BRAINを使いこなしてくれている企業様にはそういう人材がいたんです」

中島基裕CEO

人材を見える化する4つのアクション

こうした中島氏の思いから開発された『P・MOTIVATION』とはどんなシステムなのか。大原氏が説明する。

「業界規模が縮小している中で、これから店舗数がもっと減ってしまう可能性が高い。ホールの業績は基本的に7割から8割が遊技機の品揃えと出玉、立地などのハード面で決まる。もし弱い店舗が消えていって強い店舗だけが残ってしまうと、今後ハードの差別化ができなくなる。そうなると、残りの2割から3割である人材力の見える化が重要になるはずです」

では人材の見える化をどう実現するのか。『P・MOTIVATION』には大きく分けると4つのアクションがある。

大原直樹代表取締役社長

エニアグラム診断

エニアグラムはシステム上でさまざまな設問に答えてもらうことで個人の適性を測る手法。これにより社員カルテを作成する。例えば、人を助けるタイプになりたい人、成功を求める人、といった個人の内面と特性が理解できる。店舗のニーズに応じた人材の配置などが可能になると同時に、採用時に実施すれば、会社の社風に合う人材を採用できて採用費の低減にもつながる。

「M評価」診断

5～6人のグループで、それぞれが他の全員を評価する。周囲から求められていることと現状との乖離を測れるため、自分の役割を客観的に知り、課題と行動が思考できる人材に成長できる。

360度評価

例えばスタッフが50人の店舗であれば49人がひとりを評価する。M評価とグループミーティングで自分の変化を9つの視点から総合診断することで、その人の業務スキルだけでなくトータルバランスを可視化できる。

グループミーティング

自分が思っている評価と周りが思っている評価ができるだけ重なるように、M評価の数字をアウトプットする場。そこで各自が思いを吐き出すことで、次のM評価で変化を検証できるようになる。

このうち、大原氏が特に力を込めるのがM評価だ。

「M評価は360度評価を大幅に細分化させたイメージです。独自の計算式を使って末端のアルバイトの方まで全員を評価します。その結果、自己評価と他者からの評価が乖離している人は、何が足りないのかを考えることにつながります。このM評価の数字を上げていくことが、その人が成長していく過程で非常に大事なプロセスになると考えています」

M評価診断

M評価【個人】結果

			情報認識と活用	3.1	3.2	34.2
			【キーワード】	希望	現状	M評価
情報認識と活用	③外部環境の認識	11	社会情勢や業界傾向の認識	3.0	2.5	26.0
		12	お客様の要望や課題の認識	3.0	3.0	31.5
		13	経営理念や方向性の認識	3.0	3.5	42.5
		14	多方面の成功失敗例の認識	3.5	3.0	36.8
		15	他部署の状況と行動の認識	3.0	3.0	31.5
	④内部業務の認識	16	目的達成の具体的な行動を認識	3.0	3.0	31.5
		17	あらゆる角度からの情報収集と活用	3.0	3.0	31.5
		18	緊急性と重要性の認識と活用	3.0	3.5	37.0
		19	様々な知識の習得と活用	3.0	3.5	37.0
		20	指摘や改善案の認識と活用	3.0	3.5	37.0

希望＝求められていること　現状＝現状の評価
周囲から求められていることと、自分の役割を客観的に知ることで、自ら課題を設定し今後どうするべきかという思考ができる人材に成長できる

スキルを上げることで離職率を下げる

『P・MOTIVATION』が最終的に目指すところは、ホール企業の従業員の離職率の低下だ。

「パチンコ業界は非常に離職率が高い。その結果、採用費をたくさんかけなければならない。そこの無駄をなくすためにも、『P・MOTIVATION』で組織を強くしていただきたいのです」

大原氏は、**モチベーションを上げるということは、その人ができることが増えることだ**と考えている。そこで『P・MOTIVATION』では今後の展開として3つの施策を準備している。

一つは役職別のスキルが習得できる動画をシステムの中に組み込むこと。当面の目標は100個の動画。これにより、社員やアルバイトがいつでも役割に応じたスキルを学べる。

二つ目が、各企業のM評価の数値をまとめた全国データの提供。自社の人材力がどの程度のレベルにあるのかがわかり、順位を上げるための取り組みをすることでさらに組織が強くなる。

三つ目が、その全国データを使ったアルバイト求人サイトの構築だ。『P・MOTIVATION』の中に全国MAPを備えて、店舗ごとのM評価を示すことで、その店舗の組織力がわかるようになる。

「Pモチベーションに登録した店舗がアルバイトを募集するときに、M評価が高いことが人材育成優良店舗のような形で見られるようにしたい。採用媒体を使わなくてもここで完結できれば採用費の削減につながると思っています」

Pモチベーションは現在、テスト店舗でシステムの検証中だ。本格的なサービス開始は2月から。中島氏は**「スキルが上がらないとモチベーションが上がらない、という理念の下で、パチンコ業界全体の人材のスキルを上げていきたい」**と意欲を示している。

株式会社P・MOTIVATION
TEL.03-6868-7866

※月刊アミューズメントジャパン2月号に詳細記事を掲載しています。

サイネージ配信システム『ストラトス』　ザック・ストラテジー

プロモーション効果を最大限に

動画作成の時間が大幅削減、クオリティ向上

千葉駅前の『ピーアークピーくんステーション』（パチンコ586台、パチスロ414台）は、店内でのプロモーションの効率を高めるため、ザック・ストラテジーの『ストラトス』を導入。プロモーションの効果を高めることにつながった。

A

B

C

A・B・C／エントランスや島端、カウンター周辺などにサイネージを設置。場所や時間帯によって告知内容を変更し、集客・稼働向上に

「動画やPOPなど、店内販促物の作成の手間が、感覚的には半分以下になりました。それでいて、販促物のクオリティは大幅に向上したので、生産性という点ではものすごく高まったと実感しています」

ピーくんステーションの永野良店長は、ザック・ストラテジーの『ストラトス』を導入した効果を高く評価する。『ストラトス』は動画コンテンツや編集、スケジュール機能を充実させ、短時間で質の高いポスターやPOP、動画制作を可能に。クラウド上でコンテンツの作成から配信、管理、コンテンツ共有が低コストで実現する画期的なシステムだ。同店では昨年4月、ザック・ストラテジーの『ストラトス』を導入、その効果から8月に追加で導入し、現在は26台のサイネージで活用している。

永野店長

「新規則機への入替えや、新型コロナウイルスの影響により、コストの見直しや業務効率化が求められています。ですが、お客様に期待感やワクワク感を持っていただくためにも情報発信や販促は必要です。販促費用などは単純に削るのではなく、あり方を見直すことで、効率化を図ることが重要。その点で『ストラトス』は非常に役立っています」

多くの販促ツールをデジタル化させたことで、紙媒体で必要だったプリンタでの印刷、出力、張り替えなどの作業が大幅に削減された。『ストラトス』導入以前、スタッフが出演する動画配信の際にはスマートフォンで撮影し、編集をしてUSBにデータを落とし、各端末につなげるという作業が必要だったが、そうした作業も一括して設定できるようになった。

遊技機関連の動画配信についても「基本フォーマットが充実しているので、それに文字を追加したり、組み合わせたりと簡単な編集で質の高い動画が配信できるようになりました」と永野店長は高く評価。特に、多台数の入替えのときなどは重宝しているという。

時間帯や場所によって配信内容を変更できる点も、集客や稼働向上に役立っている。朝の時間帯は来店割合が高い年配層が好みそうな機種を、夕方から夜にかけては短時間でも楽しめる機種など、客層に合わせたコンテンツ配信を行っている。

「今後は、『ストラトス』を導入したグループ店とも情報を共有しながら、店舗同士でのシナジーを高めていきたい」と永野店長は先を見据える。

ザック・ストラテジー株式会社
TEL.03-6407-1538

家庭用ゲーム市場規模 前年比12・5%増

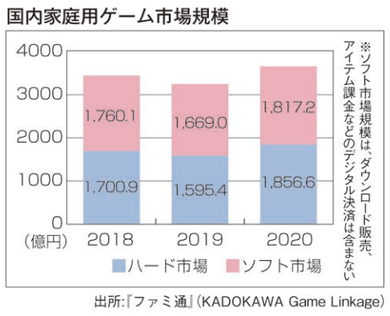
ゲーム総合情報メディア「ファミ通」の集計によると、2020年の国内家庭用ゲーム市場規模は前年を12・5%上回る3673億8千万円だった。内訳はハード市場が同16・4%増の1856億6千万円、ソフト市場は同8・9%増の1817億2千万円。ハード、ソフトの両方が前年を上回ったのは3年ぶり。

ハード市場をけん引したのはNintendo Switch（Liteを含む）で推定年間販売台数は595・7万台。プレイステーション4の54・3万台、プレイステーション5の25・5万台を大きく上回った。Nintendo Switchは4年連続で年間販売台数トップ。

ゲームソフト販売本数ランキングの1位は、推定637・8万本を販売しNintendo Switch本体の販売を強力にけん引した「あつまれどうぶつの森」（任天堂）。2位は「リングフィットアドベンチャー」（任天堂）で推定年間販売本数は159・1万本。3位は4年ぶりのシリーズ最新作「桃太郎電鉄 ～昭和 平成 令和も定番！～」（KONAMI）で123・3万本。いずれもハードはSwitch。

本データは角川アスキー総合研究所が調査し『ファミ通』を発行するKADOKAWA Game Linkageに提供したもの。集計期間は2019年12月30日から2020年12月27日まで。

国内家庭用ゲーム市場規模



出所：『ファミ通』（KADOKAWA Game Linkage）

シーズリサーチ

月1回以上頻度遊技者の半数以上がネットで競馬

パチンコ業界に特化した市場調査や遊技機関連調査等を行うシーズリサーチ（東京都）が昨年12月に実施した調査の結果は、インターネット投票で競馬を遊んでいるパチンコ・パチスロプレイヤーの割合が増加していることを示唆していた。

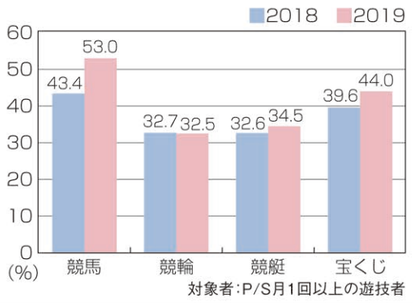
月1回以上の頻度でパチンコ・パチスロを遊んでいる遊技者（200サンプル）のうち、5割以上がインターネット投票で競馬を遊んでいた。成人全体における競馬の参加者（過去1年間に1回以上遊んだことがある人）は約10%なので、遊技者における競馬参加者率は非常に高いと言える。

これは、2018年にシーズ、エンビズ総研、APJが共同で行った『パチンコ・パチスロプレイヤー調査』のスクリーニング調査から、月1回以上の頻度の遊技者（2443サンプル）に絞りこんで「インターネット投票での競馬」の参加状況を集計した参加者率（43・4%）を約10ポイント上回っている。

対象者の割り付けなどが異なるため、2つの調査結果を厳密に比較することはできないが、他の種目（競輪、競艇、宝くじ）の参加者率はほぼ同じであることから、競馬のインターネット投票に関しては、パチンコ・パチスロプレイヤーの中で遊ぶ人が増えていると言えそうだ。

シーズリサーチの12月の調査によると、競馬（インターネット投票）の参加者率が最も高いのは30代の遊技者で約7割、次いで20代、40代が高い。2018年の調査と比較して参加者率が目立って高くなったのは、60代以上、40代、30代だった。

オンライン投票・購入の参加率



対象者：P/S月1回以上の遊技者

健全化推進機構 4月～12月 立入検査1271店舗

遊技産業健全化推進機構による2020年第3四半期まで（12月31日までの9カ月間）の立入検査店舗数は49都府県方面の1271店舗だった。検査遊技機数は8709台で、このうちパチンコ機が4264台、パチスロ機が4445台。検査計数機数は142台。

検査数は前年同期の約6割にとどまり、年度の事業計画も下回るペース。4月と5月に立入活動をほぼ中止したため。

「依存防止対策への取組み状況を確認する調査」の立入調査数は1426店舗。検査対象遊技機等の検定期間、認定期間の確認作業は、10月から12月の3カ月間に445店舗で実施した。

横浜市

反社排除とマネロン対策

市民向けIRシンポジウムで専門家が解説

横浜市が12月18日にオンラインで配信した「横浜IRを考えるシンポジウム」の第二部で行われたパネルディスカッション・パート2のテーマは、横浜IRの方向性についてのパブリックコメントに市民から寄せられた懸念事項の中で、依存症問題とならんで多く寄せられた「治安対策」について。その代表的な懸念について、国が定めている規制、国内における治安対策、外国における状況や治安対策などについて、3人の専門家が解説した。

登壇したのは、IR推進法制定時に治安維持等に関して法律面から意見を述べる立場として政府IR推進会議の有識者委員に参画した弁護士の渡邉雅之氏（三宅法律事務所）、元岩手県警本部長で犯罪の捜査を担う刑事警察領域を長く務めた三枝守氏、米国ネバダ大学ラスベガス校客員教授（法律）でネバダ州のゲーミング審議会メンバーも務めるアンソニー・キャボット氏。

渡邉弁護士はIR整備法が定める「暴力団等反社会的勢力の入退場対策」や「マネーロンダリング対策」について、「従来にない徹底した対策であり、一般の事業者や金融機関よりも上乗せされた措置が設けられている」としてその内容を説明した。

実は、現状では一般の事業者については暴力団の入場を禁止する法律はない。風営法施設や宿泊施設等が暴力団員等の入場を禁じているケースはあるが、これに法令の根拠はなく、利用約款などの契約法理が根拠になっている。一方、IR整備法は、暴力団員・暴力団員でなくなった日から5年経過しない者のカジノ施設への入場・滞在を法律で禁じている。同時に、カジノ事業者は入場させないことを義務付けられている。また、入場時にはマイナンバーカードによる本人確認が義務づけられているが、これも一般の事業者では例がない。

渡邉弁護士は、「極めつけは、これらについてカジノ事業者にも暴力団員にも罰則規定があること」と、IR整備法の厳しさを指摘した。

マネーロンダリング対策については、金融機関が行うこととされている"取引記録の保存"や"疑わしい取引"の報告義務に加えて、日本の金融機関では行っていない"高額現金取引届出"（カジノ管理委員会へ届出）などが定められている。"高額現金取引届出"（24時間内のCash-Outの合計が1万ドル＝約100万円を超えた顧客との取引記録）はアメリカのカジノ事業者も義務付けられていることに言及し、「アメリカのカジノ事業者は、マネーロンダリング対策においては日本の金融機関よりも厳しい対策を講じていると言える」と述べた。

日本のIR整備法では、マネーロンダリング対策としてチップに関することとして、チップの譲渡の禁止やこれを防止するために必要な措置（ICチップ入りチップの導入など）を講じることも定めている。

キャボット教授は、ネバダ州ラスベガスにおける反社会勢力を排除する法律の中で、特に重要なことのひとつが事業者のライセンシング（許認可）だと説明。カジノ事業に関わるライセンスの審査では、犯罪組織とのつながりがないことを調べるために、所得源を少なくとも5年前まで遡り調査する。幹部および主要従業員もこの調査の対象になる。「反社会的勢力の排除は、まずはカジノ事業者の組織内から犯罪組織と関わりのある人間を排除することから」が基本的な考え方だと言う。さらに、カジノ事業者と取引を行うサプライヤーやコンサルタントなども背面調査の対象になる。

NEXUS D'station Racing ル・マン参戦

NEXUS（群馬県高崎市）は20日、「D'station Racing」が2021年FIA世界耐久選手権および2021年のシリーズ第3戦として開催される「第89回ル・マン24時間レース」に参戦すると発表した。使用車両は「アストンマーチンヴァンテージ」で参戦クラスは「LMGTE・Amクラス」。ドライバーはオーナー兼ドライバーの星野敏選手（プロンズ）と日本のスーパーGTで豊富な実績を誇る藤井誠暢選手（ゴールド）を起用する。

ル・マン24時間耐久レースは6月10日から13日まで開催される。

警察庁人事

大阪府警察本部長 井上二志警視監

昭和38年2月生まれ、広島県出身。63・3東京大法卒。63・4入庁、平成27・1福井県本部長、28・8警察庁警備局付（内閣官房副長官補付（拉致問題対策本部事務局））、令和2・4同（内閣官房審議官（内閣官房副長官補付（拉致問題対策本部事務局審議官））

豊丸産業

Pバーストエンジェル3

問い合せ／豊丸産業㈱　導入予定日　3月22日

©2003 GONZO／爆天計画
©2003・2007 GONZO／爆天計画

2種類のリミット搭載 継続率は96%オーバー

混沌とした21世紀の東京を舞台にしたSFガンアクションアニメ「爆裂天使」をモチーフにしたシリーズ第3弾。新解釈基準対応機として、業界初の2種類のリミットを搭載した。大当たりはどちらも3R確変の「ショットガンボーナス」（2回リミット）と「ショットガンボーナス スペシャル」（4回リミット）の2種類。初当たりから継続率約96%を誇る小当たりラッシュ「V RUSH」への突入率は100%。高継続ラッシュを存分に楽しめる1台だ。

ライトミドルタイプ
大当たり確率：1/199.8→1/25.4
小当たり確率：1/1.29（特図2のみ）
ショットガンボーナス回数：1回or3回
V RUSH突入率：100%
V RUSH継続率：約96%
ラウンド数：3R
賞球数：3&1&4&5&10

ビスティ　遊タイム搭載機

新世紀エヴァンゲリオン 決戦 プレミアムモデル

問い合せ／フィールズ㈱　導入予定日　2月

©カラー ©カラー／Project Eva. Bisty FIELDS

決戦モード突入で ST100%・継続率約78%

V-STタイプ（入賞順消化）の甘デジ。初当たりの50%が確変（特定ラウンドのV入賞が条件。以下同）となる。初回7揃い（10%）と特図2からの大当たりの40%は払い出し1000個で終了後、「決戦モード」に突入。ST20回＋電サポ80回で、継続率は約78%（残保留4回を含む）と次回大当たりも大いに期待できる。低確率299回転消化で200回転の遊タイムに突入。大当たりすれば、特図2での振り分けなので確変100%の恩恵が受けられる。

甘デジタイプ
大当たり確率：約1/99.9→約1/30.5
確変タイプ：50%→100%確変（ST20回）
時短回数：20回or100回
賞球数：3&1&5&1&10
ラウンド数：3Ror10R・10カウント
遊タイム：低確時299回転消化で時短200回突入

行政講話

コロナ対応、旧規則機の撤去・廃棄を着実に

警察庁生活安全局保安課　小堀龍一郎　課長

全日本遊技事業協同組合連合会 全国理事会における課長講話　2021年1月15日

1月15日に開催された全日遊連の全国理事会で、警察庁生活安全局保安課の小堀龍一郎課長が講話を行った。小堀課長は新型コロナウイルス感染防止への対応をはじめ、旧規則機の撤去、依存問題対策、法令遵守などについて業界に要望した。全文を掲載する。

ただいま御紹介にあずかりました保安課長の小堀でございます。

皆様方には、平素から警察行政の各般にわたり深い御理解と御協力を賜っているところであり、この場をお借りして御礼申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

また、皆様方におかれましては、低炭素社会実行計画に基づく節電、省エネルギー対策等に積極的に取り組まれるとともに、各種の社会貢献活動にも尽力されているところであり、改めて敬意を表する次第であります。

危機感をもってコロナ対応を

さて、昨年を振り返りますと、昨年1月に国内初の感染者が確認されて以降、新型コロナウイルス感染症の感染が全国に広がり、業界にも予想をしなかった影響が及びました。大変厳しい一年間であったと思います。

感染者数は一時期減少しましたが、再び増加に転じ、本年1月7日には緊急事態宣言が行われました。緊急事態措置を実施すべき期間は、1月8日から2月7日までとされ、実施区域は現在、11都府県とされています。「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」においては、まん延防止のため、特定都道府県により、飲食店に対し営業時間の短縮を要請することとされていますが、ぱちんこ店については、20時以降の不要不急の外出自粛を徹底することや、施設に人が集まり、飲食に繋がることを防止する必要があることなどを踏まえ、同様の働きかけを行うとされています。

業界では、昨年5月に、医療関係者の監修を得て、感染予防のためのガイドラインを策定し、それ以降も順次改定してきています。また、喫煙対策として導入してきた換気設備が感染防止対策にも役立っているという話も伺っています。

しかし、油断は禁物です。感染者数は昨年より増加し、深刻化しています。感染防止対策として緩んできている点はないでしょうか。万が一パチンコ店の中からクラスターが発生したら、どうなるでしょうか。世間は、「A店から出たけど、他の店は大丈夫」と見てくれるでしょうか。

パチンコホールの皆様におかれましては、現在の感染状況の深刻さ、今回の緊急事態宣言の重み、現在、そして今後の都道府県からの要請・働きかけの内容等を十分に踏まえつつ、今一度危機感を持って、業界のガイドラインに沿い、あるいはそれ以上の工夫をしながら、ウイルスの脅威から、お客と従業員、それぞれの御家庭にいらっしゃる御家族の方々の健康・命を守っていただきたいと思います。

本日はお時間をいただいておりますので、年頭に当たり、業界が取り組むべき課題として特に留意が必要と考えていることについて、ポイントを絞ってお話をさせていただきます。

大きく分けて、旧規則機の撤去、のめり込み・依存問題、法令違反の3点について述べます。

旧規則機の撤去について

まず、旧規則機の撤去についてです。

御案内のとおり、昨年5月に国家公安委員会規則を改正し、旧規則機の撤去に係る経過措置期間を1年延長しました。本年は、この撤去を着実に進める必要があります。

昨年の規則改正には経緯がありました。まず、業界内の事情として、新型コロナウイルス感染症の影響により、遊技機の部材調達が困難化するなど、新規則機への入替を予定通り進めることが困難となったこと、入替作業等に伴う感染拡大の防止を図る必要があったことがありました。他方で、社会一般の視点から、射幸性の抑制という命題が後退したと受け止められてはならないこと、また、撤去期限がそのまま後ろ倒しになり、経過措置期間満了間際になって撤去が集中する等の事態を避ける必要があることといった問題がありました。これらの問題の解決に向けて、業界団体の幹部の皆様と議論をし、最終的に、業界団体による旧規則機撤去の取組に対する信頼をベースに、入替を分散化して計画的に行うため、規則改正を行うこととしたものでした。

当時、緊急事態宣言の下、休業要請が出される中、一部のぱちんこ店がこの要請に応じないと、世間から大きな非難を浴びている時でもありました。団体幹部の方々は、その対応とともに、この問題の検討によく取り組まれたと思います。

業界では、こうした規則改正の趣旨を踏まえ、パチンコ・パチスロ産業21世紀会で決議をしました。それに基づき、計画的な撤去を推進していると承知しています。私どももよく状況をみていきたいと思います。引き続き、ぱちんこホール、遊技機メーカー、遊技機販売会社等が協力・団結し、計画的に着実に撤去されるようお願いします。

遊技機の適正な管理・廃棄

旧規則機の撤去を進めるに当たり、遊技機の廃棄方法も非常に重要となります。

かつて廃棄された遊技機が「野積み」等として社会問題化したことが思い出されます。また、ぱちんこ店で使われていた遊技機が「闇スロ」と呼ばれる賭博で用いられることもあります。こうした問題を繰り返さないことが求められます。

我が国全体で環境問題への取組が進展し、その関心も高まる中、かつてのようなことが起きた場合の業界のダメージは計り知れません。

既に九州の遊技業界においては撤去・回収を進めるための新たな取組が行われていると伺っています。遊技機の適正な管理・廃棄が確実に行われるよう、全日遊連を始めとする関係団体が、それぞれ自らの立場で何ができるかを真剣に考え、行動に移していただきたいと思います。

なお、新規則機については、遊技機メーカーにおいて製造や新たな開発が進められています。当庁においても、射幸性を上げることに繋がるものではなく、魅力ある遊技機作りが可能となるよう、多彩な演出やゲーム性を高める内容の要望については、前向きに対応しているところです。これまでに業界の要望を受け、例えば技術上の規格解釈基準を変更し、新たなゲーム性を有する遊技機を開発可能とするなどしています。現在も日工組、日電協において様々な努力が行われています。

射幸性を抑制した遊技環境

ところで、昨年5月から、ぱちんこ営業が信用保証協会の保証の対象、政府系金融機関の支援の対象になりました。実際に多くの営業者から申請がなされており、既に支援を受けられた営業者も多いと思います。これは税金を投入して営業の支援を図るものであり、長い間、ぱちんこ営業には認められないものでした。今回、業界団体から改めて陳情がなされましたが、これまで首を縦に振らなかった中小企業庁等の担当省庁から最終的に認められたのは、ぱちんこ営業の射幸性が風営法でしっかりコントロールされていること、とりわけ平成29年の規則改正によって射幸性が抑制されることとなったことに理解が得られたからでした。この点については、当庁と中小企業庁等との間でも色々とやり取りがあったところでした。

コロナ禍により、様々なビジネスモデルの転換が模索されています。ぱちんこ営業を取り巻く状況としても、冒頭述べた感染防止対策の安全・安心の問題のほか、ユーザーがレジャーに使用できる金額に今後変化が生じるかもしれません。一方で、世知辛い世の中で、娯楽に憩いと潤いを求めようとする人の人情もあろうかと思われます。

多くの要素が複合する時期ではありますが、このような時だからこそ、ぱちんこホール、遊技機メーカー、遊技機販売会社等が協力しながら、新規則機を活用し、射幸性をしっかり抑えた上で、客が安く安心して遊べる、新たな遊技環境を作り出せるかが問われるものと思います。業界全体での取組みを期待しています。

のめり込み依存防止対策

次に、ぱちんこののめり込み・依存防止対策についてです。

業界では、既に、基本計画に基づき、ぱちんこの依存防止対策に係る実施規定を制定するなどしていますが、引き続き基本計画に基づく取組を着実に実施していただきたいと思います。

本日は、個別の内容については割愛いたしますが、皆様には、今一度、ぱちんこには、人を引き付ける大きな力があること、それ故、人によっては、遊技が過度になってしまい、負債等の問題にまで至ることがあることを再認識していただきたいと思います。そして、ぱちんこが潜在的に持つ負の側面を生じさせないように努力していただきたい。ぱちんこへののめり込み・依存で困っている方は、ぱちんこ店に来られるお客の中の一部なのかもしれませんが、そうした方やその御家族からの「何とかしたい」という切実な声に誠実に応えていただきたい。これができるのは、皆様方しかいないのです。

こうした声に応えるための取組の一つに「自己申告・家族申告プログラム」があります。同プログラムについては、昨年末現在、4747店舗が導入していると報告を受けていますが、今後、導入店舗数を一層拡大していくこと、また、同プログラムについて一層周知し、必要な方にしっかり利用される環境を整備していくことが不可欠です。自己申告プログラムのみならず、家族申告プログラムの導入店舗の拡大、これらのプログラムの普及・充実、実効性を高める取組を進められることを期待しています。

また、のめり込み・依存対策については、関係機関と連携・協力して進めることも重要です。基本計画においても、各地域において包括的な連携協力体制を構築することとされています。既に連携会議が開催されている地域は、引き続きそれへの積極的な参画を通じて、連携を深めていただきたいと思いますが、一方、連携会議の枠組みにとらわれる必要はありません。この点、ある県遊協では、関係機関を巻き込む形で、依存問題に関する知識を深めるべく、セミナーを開催したと伺っています。のめり込み・依存対策と真剣に向き合い、自ら積極的に関係機関と連携する取組をされているものと評価しています。

のめり込み・依存に陥ってしまった方、その御家族のことに思いを致し、他機関とも連携した取組を貴連合会で広げられることを期待しています。

遊技機の不正改造事犯

続きまして、いまだに一部の営業所で守られていない法令遵守に関し、遊技機の不正改造と賞品問題について簡単に触れておきます。

まず、遊技機の不正改造事犯についてです。

ぱちんこ店において遊技くぎを曲げて検定機と異なる性能を作出する事案がいまだに発生しており、昨年も複数の検挙事例の報告を受けています。当然、くぎ曲げを含む不正改造事犯については、今年も厳しく取り締まっていきます。

また、遊技機の部品交換については、経年劣化によるものを含め、承認等の手続なく行った場合には、無承認変更等として重い処分の対象になりますので、改めてご留意ください。

貴連合会におかれましては、引き続き全国の組合員に対し正しい認識の浸透を図るとともに、業界全体をリードして、この種問題の絶無に向けて尽力されることを期待しています。

また、遊技産業健全化推進機構の活動については、業界の健全化に欠かすことができない存在になっているものと認識しています。機構においては、不正根絶のための立ち入り検査を積極的に行うほか、依存防止対策の取組状況を確認するなど、第三者機関としての位置付けを保持しつつ、健全化のための各種活動を推進しています。警察としては、今後とも機構と連携し、健全化のための対策を推進していきたいと考えています。引き続き、業界全体で機構の活動への協力・支援をお願いしたいと思います。

賞品問題について

次に、賞品問題についてです。

まず、賞品買取行為の規制についてです。

昨年も複数の賞品買取り事犯の検挙があり、営業者の逮捕に至る事案も発生しています。賞品買取行為の規制は、ぱちんこ営業が賭博との一線を画す上でも重要な規制であり、ぱちんこ営業の根幹に関わるものです。貴連合会におかれましては、このことを営業者一人一人にまで周知徹底していただきたいのであります。警察としては、引き続き、違反行為に対し厳正に取締りを行います。

次に、賞品の取りそろえの充実についてです。

業界では平成18年、遊技客に賞品を選んでいただく楽しみを提供し、真の大衆娯楽としてのぱちんこ営業のあるべき姿を実現するという決意のもと、ぱちんこ営業者関係5団体により「ぱちんこ営業に係る賞品取りそろえの充実に関する決議」がなされました。今一度、この決議を確認し、各営業所において、自身の店舗の状況を再点検した上で、不十分な場合には早急に見直しを行うなど、貴連合会が本取組について業界をリードしていただきたいと思います。

最後に、等価交換規制についてです。

御承知のとおり、営業者が客に対し賞品を提供する際には、遊技球や遊技メダルの数量に対応する金額と等価の物品と交換しなければなりません。いかなる遊技機、賞品であっても、例外なくこの規制に従って提供されなければ、法令違反となります。当然、この規制についても遵守徹底をお願いします。

以上、業界が取り組むべき課題として特に留意が必要と考えていることについて述べました。

本年は、コロナ禍の対応、旧規則機の撤去、適切な廃棄など、今年中に実行に移す必要がある課題が多くあります。そしてその対応は、翌年以降のぱちんこ営業の在り方にも大きな影響を与えるものと思われます。全日遊連の尽力に大きく期待したいと思います。

結びに、貴連合会の益々の御発展と皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、私の話を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

日本iスポーツ機構

遊技機取り付けを競技に 競技大会を定期開催へ

日本iスポーツ機構（NIS）は15日、設立オンライン記者会見を開催した。

「iスポーツ」とはパチンコ遊技機の取り付けを競技化し、これに必要な技術と知識を高め、トレーニングを行うことで健康な心身を育成することを目的とした新たなスポーツ。大会の参加には「iスポーツ健康アドバイザー」というプロライセンスが必要で、ライセンスは、取り付けについての設問に回答する試験に合格することで取得できる。

大原代表理事

大原弘代表理事は冒頭の挨拶で「パチンコ機の取り付けを競技化するという、今までにない概念で、新しいチャレンジ。体力増進や健康に繋がるスポーツというカテゴリーで、社会に元気と笑顔を届けられるように iスポーツを発信していく」と決意を示した。

今後は、iスポーツの競技体験会が2月20日に、iスポーツ第1回競技大会～GENNOUカップ～「第一回 入替屋 選手権」が4月中旬に開催される予定。

競技ルールに沿った、遊技機取り付けのデモンストレーションを行った

米国の商業カジノ収益

11月に回復減速

アメリカ全土の商業カジノ（※1）の2020年11月度のゲーミング収益の速報値（※2）は、前の月から14・8％減少して29・2億ドル。前年同月比84・1％にとどまった。

商業カジノの総ゲーミング収益は5月から10月まで6カ月連続して前の月を上回り回復傾向を示していたが、11月にはCOVID-19感染者の急増による新たな営業制限や再閉鎖に加え、不利なカレンダー（10月に比べて週末が少ない）、消費者の支出の抑制など複数の要因が重なった。

デトロイトでは11月18日に3つのカジノが閉鎖されたことで、月間のゲーミング収益は前月から半減した。一方で、前月を上回った州がコロラド州、デラウェア州、ミシシッピ州、サウスダコタ州で、特にコロラド州はスポーツベッティングの大きな伸びが州のカジノ収益増に寄与した。

11月にテネシー州が新たに商業カジノ営業州に加わったことで、商業カジノが行われている州は30になった。スポーツベッティングが合法化されている州は1つ増えて19、iGamingが合法化されている州は4。アメリカでは、スロットマシンとテーブルゲームの収益の落ち込みを、スポーツベッティングとiGamingの急成長が補っている形だ。スポーツベッティングの11月の収益は、過去最多を更新し2億7970万ドルに達する見込み。

注1：アメリカには2019年末時点で約989のカジノがあり、そのうち465が「商業カジノ」（Commercial Casino）で、524がアメリカンインディアン部族が運営する「部族カジノ」（Tribal Casino）。

注2：イリノイ州の集計が含まれていないほか、一部の州の種目別集計が含まれていない。

11月度 カジノ収益（GGR）

	GGR	前年同月比
Total	$2.92 B	▲15.9%
スロット	$1.83 B	▲19.8%
テーブルゲーム	$470.7 M	▲30.8%
スポーツベッティング	$266.3 M	+144.7%
iGaming	$154.2 M	+160.7%

パチンコホール収益力 11月度

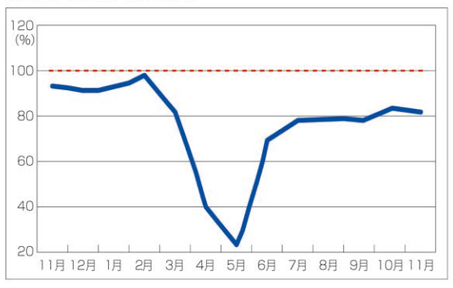
前年同月比81・5％に低下

経済産業省が毎月実施している「特定サービス産業動態統計調査」をもとに算出した2020年11月度の遊技機1台当たりの月間売上高は、前月より1万9400円低い31万1600円（1日当たり1万7745円、29日で計算）だった。前年同月比は81・5％で、前月より2・1ポイント悪化した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために発令された緊急事態宣言は5月下旬に解除され、遊技機1台当たりの売上高は、6月には前年同月比69・0％、7月には同79・1％へと回復した。しかし高齢者層を中心に、新型コロナウイルスの感染を懸念する層が来店を見合わせていると考えられ、これ以降は足踏み状態が続いている。

同調査は全数調査ではなく、売上規模が大きい大手～準大手法人を対象にしたもの。調査対象法人の店舗数合計は1204店で全国店舗数の約13％。

ここから計算した上記の遊技機1台当たり売上の減少割合はあくまでも大手～準大手法人の営業店舗の売上傾向を表しているものであり、市場規模の変化を表すものではない点に注意が必要だ。

全日遊連加盟ホール（全国ホールの約9割が加盟）の営業店舗数は、2020年1月から11月の間に565店（6・4％）減少し、設置遊技機は19万2717台（4・9％）減少している。

台当たり売上高　前年比推移